

# LIBRARY NEWS 07

R6 DEC

冬季休業中の開館日； 12月23日(月)～12月27(金) 8:30～16:45

## 冬のWINTER FES 好評開催中

### 第1弾

冬休みの貸出冊数がなんと5冊  
まで(←3冊)増加!!

### 第2弾

ビブリオR大賞 発表します!

ビブリオ・ライティング	最優秀賞	1年1組	兵頭央脩
優秀賞	3年3組	2年1組	渡邊結菜

### 第3弾

NEXT! 図書館賞 決定しました!  
学期ごとにクラス表彰。

30冊以上借りた生徒は学年末に表彰あり。



3年3組



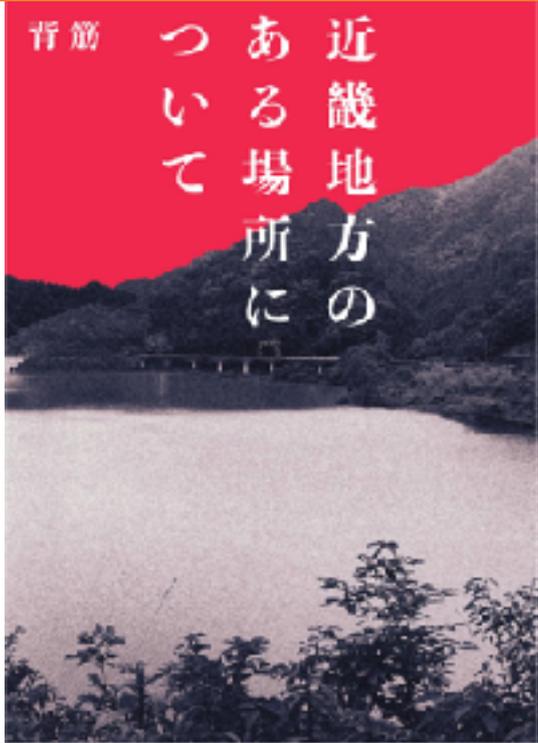
2年2組



2年3組

クラス別図書貸出平均冊数 (7月12日～12月10日現在)

<h1 style="margin: 0;">No.11</h1>	本のタイトル	近畿地方のある場所について
	作者	背筋



この本は、背筋さんによって書かれたホラー小説です。この本は、別の作家である雨穴さんの「変な家」と「変な絵」の影響でホラー小説にはまっていた時、おすすめされているのを見て知りました。ある場所はこの本の最後まで●●●●●というように伏字にされています。この理由は最後にわかります。この本の中では近畿地方で起こったさまざまな出来事が短編集のように何個も書かれています。関係ないような話に思える中に●●●●●が何回も出てきて、たくさんのお話を経て話につながりが見えてくると同時に気味が悪くなってきます。だんだん核心へ話が迫っていくのと一緒にこの本の作者の様子もおかしくなっていきます。違和感を覚えながらを読み進めていったのですが、最後まで読んだ自分は、読んだことを後悔しました。最後になんですが、この本には後ろに袋とじがあるのですが、ホラーが苦手な人は夜には開けないでください。ちなみに自分は夜に開けました。

**ROOM 11**  
 気になる  
 新刊紹介コーナー

電子書籍の新刊です



この本は、太宰治などの有名な文豪たちの作品を要訳し、漫画にしています。昔だからこそその作風が、今とは違って、とても面白く感じました。

マンガなので小説が苦手という人にも読みやすいと思います。

私は森鴎外の「高瀬舟」のラストに「こう来たか」と驚きました。実際の小説も手に取って読んでみたくなりました。

11R 木下 百穂

友達に勧められて読んだ本の続編が出ています。

いつも孤独感を感じている人はいませんか？人に無理に合わせようとするから寂しいと感じるのではないのでしょうか？一人の時は意外と寂しいとまらないのではないのでしょうか？そんな「孤独も悪くないよ」と買ってある本です。

11R 小川 大吾

